

第 35 回日本認知症学会学術集会

医療法人水明会佐潟荘 医局

12月1日(木)、第35回日本認知症学会学術集会（場所：東京国際フォーラム、会長：順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学、新井平伊教授）に、当院で中高年の心身・物忘れ外来を担当する北村医師が、初日だけ参加しました。『軽度認知障害の背景病理と進行』『血管性認知症診療の新展開』『高齢者のフレイル・認知症と漢方薬』『東京都の認知症施策：大都市における試み』『認知症と共生する社会に向けて』

『レビー小体型認知症の病理と臨床』などのレクチャー、シンポジウムを聴講してきました。この学会では、精神科・神経内科・脳外科・老年科など、認知症診療に従事する臨床家からの講演・研究発表に加えて、認知症の病態解明と根本治療の確立を目指す基礎研究者からの研究成果も披露されます。馴染みの薄い研究領域については、理解が難しいこともあります。その分、新鮮な知的刺激を受けることができ、本学会の魅力の一つと言えるかもしれません。